



新時代を拓く  
Create a New History

FC GIFU

FC岐阜  
株式会社岐阜フットボールクラブ  
代表取締役社長

宮田博之氏

連載Vol.

28

## FC岐阜の新たなホームタウン活動

FC岐阜は県下42市町村から株主として、またスポンサーとして経営的に支えていただいております。またその上に21試合の興行面でも、ホームスタジアムでの1試合について1~3市町村ずつがホームタウンデーパーターナーとして入場したお客様に対して祭りの一部を披露していただいたり、名物の食べ物を出店していただいたり、毎試合大いに盛り上げていただいています。そんな各自治体様に対してFC岐阜は、全市町村の様々な施設に出向いてサッカー教室、かけっこ教室、健康体操などの指導を積極的に行い、その回数も昨年は596回になり、全Jリーグ54クラブ中で第7位の活動回数になりました。

今シーズンはシニアの皆様が元気なシニアになっていただけるように、各大学や病院と提携してスタジアムの芝生広場で大人向けの健康維持活動を推進しています。

例えば、先ずはご自分の体力測定です。昔取った杵柄のイメージだけが残っていますが、既に実態はかけらもなくなっている場合が殆どです。過信だけが残っていて何もせずいて気が付いた時には時すでに遅いです。

生きる年齢が100歳時代に、何でも自分で出来て、楽しめる

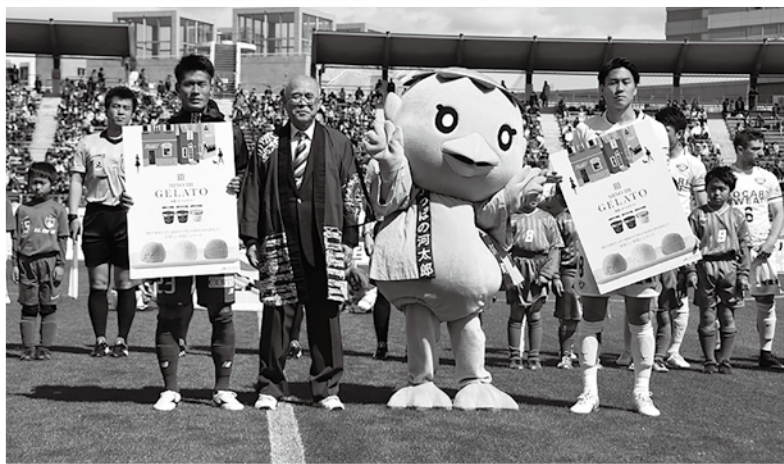
年齢を高めるように、少しでも働いて収入が得られる年齢を高めて、先ずは健康なシニアになるように、今のうちから実行することが大切です。FC岐阜はそのお手伝いも実行していきますので、是非お気軽にお越しください。

また、この度、各自治体様へ28名の選手全員が、1人で1~2市町村のホームタウン応援大使として、選手活動の妨げにならない範囲で空き時間やオフ日を利用して、スマートフォンからSNSなどで特産品や観光地やイベントの宣伝の一役を買おうというものです。因みに岐阜市は石川大地選手と大木武監督と私も担当いたしますので、宜しくお願いいたします。

石川大地選手コメント

「岐阜市の応援大使としてこれからはオフの日に観光地を巡り、自分のSNSで岐阜市の魅力を発信していきたいです。またサッカー面では怪我からのリハビリが続いていますが、早くピッチに立ち岐阜市の皆さんに喜んでいただける様に頑張りたいと思います。」

これからも県下42市町村に対するホームタウン活動に積極的に取り組んでいきます。



4月15日の徳島ヴォルティス戦では多治見市と揖斐川町によるホームタウンデーパーターナーとしてイベントを催していただきました。

写真：©Kaz Photography/FC Gifu

お問い合わせ・お申し込み先 (株)岐阜フットボールクラブ Tel.058-231-6811

FC岐阜

検索